

研修のお申込み

お問い合わせ・お申込みは……
 特定非営利活動法人
メンタルケア協議会
 Japanese Association of Mental Health Services
 東京都渋谷区代々木 1-57-4 ドルミ第2代々木 2階
 TEL: 03 (5333) 6446 FAX: 03 (5333) 6445
 http://npo-jam.org/ touban@npo-jam.org
 募集要項など採用情報詳細はこちらから…
 < 採用特設サイト: <https://npo-jam.jp/saiyou/> >

定員30名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せてFAXまたはメール添付で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記URLよりダウンロードしてください。

<https://npo-jam.jp/saiyou/jobs/entry.html>

応募締切 2022年1月24日(月)必着

- ※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を1月27日までにメール(またはFAX)にてお送りいたします。
- ※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。
- ※ FAXまたはメール添付にて履歴書を送られた方は面接時に原本を持参してください。

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前 _____ 年齢 歳 性別 男 ・ 女

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

メールアドレス(原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを ※携帯アドレスは不可。)
 _____ @ _____

2022年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。
 ※土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。
 ※勤務時間帯は[午前勤]11:30~14:00、[A]13:30~18:30、[B]18:00~22:30、[C]22:00~翌6:00です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修(および受講日)

■必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。
 人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただきます。受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日/場所	時	必修	参加	単位
オンラインビデオ研修1コマ1時間前後+テスト付き 全14コマ			必修	参加	単位
①外傷的育ちの影響と家族問題 6コマ 1.「外傷的育ちを抱える人の生きづらさの理解—メンタライゼーションの視点から」、2.「外傷的育ちを抱える人の支援—メンタライゼーションの視点から」、3.「思春期の「死にたい」気持ちに向き合う」、4.「不登校の「つらさ」を考える」、5.「ひきこもり支援の背景と長期化を防ぐ関わり方」、6.「ひきこもり、文化依存候群が普遍な現象なのか；治療におけるナラティブアプローチ」			必修	可・不可	3
②ひきこもりの支援の実際 5コマ 1.「ひきこもり状態にある人の支援：訪問支援の実際」、2.「ひきこもり支援におけるアウトリーチ」、3.「ひきこもり支援におけるアウトリーチとケースマネジメント」、4.「むぎぐみの子育て支援・家族支援・当事者支援」、5.「むぎぐみのひきこもり支援の実際」			必修	可・不可	3
③ひきこもりや家族問題を背景にした自殺を考える～8050問題、コロナの影響を含む～ 3コマ 1.「ひきこもる人たちの心情」、2.「8050問題に周囲はどう関わればいいのか」、3.「コロナの問題と家庭問題、自殺への影響」			必修	可・不可	3
グループロールプレイ			必修	可・不可	1
①相談を受けとめる	1/30(日)・2/6(日)・2/26(土) 全理連ビル9階ABC室	12:00~18:00	必修	可・不可	1
②自殺リスクアセスメントと自殺に関連する相談	2/12(土)・2/23(水・祝) 全理連ビル9階ABC室	12:00~17:30	必修	可・不可	1
③他機関へ繋ぐ	3/21(月・祝)・3/27(日) 全理連ビル9階ABC室	12:00~17:30	必修	可・不可	1
④SNSと電話へ繋ぐ	3/19(土) 全理連ビル9階ABC室	12:00~16:30	必修	可・不可	1
現場研修			必修	可・不可	1
①東京夜間こころの電話相談	2/11(金祝)・2/13(日)・2/19(土) 2/24(木)・3/3(木) 相談室	18:00~21:00	必修	可・不可	1
②東京都精神科救急医療情報センター	3/7(月)・3/10(木)・3/12(土) 3/14(月)・3/16(水) 相談室	18:00~21:00	選択	希望する	1
③SNS相談	3/20(日)・3/23(水)・3/25(金) 3/26(土) 相談室	14:00~17:00	選択	希望する	1
④特定非営利活動法人TENOHASI「ホームレス支援とハウジングファースト」	炊き出し 3/12(土)・3/26(土) 夜回り 3/2(水)・3/16(水)・3/30(水) 東池袋中央公園とその周辺	15:00~19:00 18:00~22:30	選択	希望する	1

東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2022年
1月~3月
のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル~こころといのちのほっとライン~」を平成22年4月から開設しています。この電話相談に従事する相談員(非常勤)を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、令和4(2022)年度から電話相談員(非常勤)として働きたいと考えておられる方です。意欲溢れる方々のご応募をお待ちしております。ぜひ参加をご検討ください。

コロナ禍での研修開催となりますので、講義はオンラインビデオ研修にて行います。なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2022(令和4)年度に相談員(非常勤)として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義 全14コマ
(オンラインビデオ研修1コマ1時間前後+テスト付き)
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験
(レクチャー：事前にオンラインビデオの視聴)
研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎修了証の発行
全9単位を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場のご案内

※グループロールプレイの会場です。
全理連ビル(代々木)9F会議室
 東京都渋谷区代々木 1-36-4
 ■代々木駅北口 徒歩1分(1Fがマクドナルドのビルです)

参加登録制
定員 30名
参加費不要



主催
東京都福祉保健局保健政策部
特定非営利活動法人メンタルケア協議会

研修日程

研修内容	研修テーマと演題	詳細 / 備考	講師		
I. 基礎知識 習得のための 講義 全14コマ	①外傷的育ちの影響と家族問題				
	1.「外傷的育ちを抱える人の生きづらさの理解—メンタライゼーションの視点から」	外傷的育ちの生きづらさや特徴治療、必要なケアを臨床での医学的な見地と体験に基づいて	崔炯仁		
	2.「外傷的育ちを抱える人の支援—メンタライゼーションの視点から」				
	3.「思春期の「死にたい」気持ちに向き合う」	子どもの不登校、ひきこもり、摂食障害、自傷行為、その他こころの問題と家族関係、その理解と支援	山登敬之		
	4.「不登校の「つらさ」を考える」				
	5.「ひきこもり支援の背景と長期化を防ぐ関わり方」				
	6.「ひきこもり、文化依存候群が普遍的な現象なのか；治療におけるナラティブアプローチ」	ひきこもりの現状とアニメを使ったひきこもりの支援の研修	パントー・フランチェスコ		
	②ひきこもりの支援の実際				
	1.「ひきこもり状態にある人の支援:訪問支援の実際」	本人の支援など	白石弘巳		
	2.「ひきこもり支援におけるアウトリーチ」	現場におけるアウトリーチ、ケースマネジメント			
3.「ひきこもり支援におけるアウトリーチとケースマネジメント」	子育て支援と家族支援（むぎぐみの実践から）	井上智博			
4.「むぎぐみの子育て支援・家族支援・当事者支援」					
5.「むぎぐみのひきこもり支援の実践」					
③ひきこもりや家族問題を背景にした自殺を考える～8050問題、コロナの影響を含む～					
3単位 すべて必須	1.「ひきこもる人たちの心情」	コロナによるひきこもりへの影響 ～8050問題、コロナの影響を含む～	池上正樹		
	2.「8050問題に周囲はどう関わればいいのか」				
	3.「コロナの問題と家庭問題、自殺への影響（仮）」		羽藤邦利		
 基礎知識習得のための講義は オンラインビデオ研修です。1コマ1時間前後+テスト（ビデオ公開には期限があります。） <small>※オンラインビデオの公開は2月中旬～3月末公開予定です。※受講者にはユーザーアカウントとログイン用のパスワードを発行いたします。 ※期限内にビデオを視聴いただき、オンラインテストにご回答ください。※講義は追加・変更となる場合がございます。予めご了承ください。</small>					
研修内容	研修テーマ	日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師
II. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必須	① 相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)	1/30 (日) 2/6 (日) 2/26 (土)	12:00 - 18:00	全理連ビル9階ABC室 ※ 12:00～12:30開校式 ※ 3回のうち一日に参加	内藤 武 西村 由紀
	② 自殺リスクアセスメントと 自殺に関連する相談 (模擬事例検討とロールプレイ)	2/12 (土) 2/23 (水・祝)			
	③ 他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/21 (月・祝) 3/27 (日)	12:00 - 17:30	全理連ビル9階ABC室 ※ どちらか一日に参加	荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀
	④ SNSと電話へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	3/19 (土)			
相談現場の見学		日 / 場所	時	各論テーマ / 備考	講師
III. 現場研修 各1単位 ①は必須、 ②～④は 選択	① 東京夜間こころの電話相談	2/11(金祝)・2/13(日)・2/19(土) 2/24(木)・3/3(木)	18:00 - 21:00	電話相談対応の基本（レクチャー） 相談の陪席	西村 由紀 荒井 澄子 國吉 淨子
	② 東京都精神科救急医療情報センター	3/7 (月)・3/10 (木)・3/12 (土) 3/14 (月)・3/16 (水)			
	③ SNS相談	3/20(日)・3/23(水)・3/25(金) 3/26(土)	14:00 - 17:00	SNS相談の基本（レクチャー） 相談の陪席・ロールプレイ	西森 優実子 千田 康仁 SNSVV
	④ 特定非営利活動法人TENOHASI 「ホームレス支援とハウジングファースト」	炊き出し 3/12(土)・3/26(土)			
		夜回り 3/2(水)・3/16(水)・3/30(水)	18:00 - 22:30	※レクチャーの動画を必ず見ってから参加。 ※1回の参加者は引率1名+研修生2名の3名。両方参加もOK。	
⑤ 自殺相談ダイヤル	3月下旬(全4回)	13:00 - 19:00	※次年度採用予定の方のみ。		

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 令和3年度 (2022.1～3月)

講師・団体紹介 (50音順)

荒井 澄子(あらい・すみこ)
メンタルケア協議会理事／元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所)など。

池上正樹(いけがみ・まさき)
ジャーナリスト／日本文藝家協会会員／KHJ 全国ひきこもり家族会連合会広報担当理事／約25年にわたって、ひきこもり関係の取材を続ける。最近「ひきこもり先生」「こもりびと」などNHKドラマの監修も務める。対話の場「ひきこもりフューチャーセッション庵・IORI」設立メンバー。テレビやラジオにも多数出演。全国各地の行政機関などで講演活動を行う。著書「ルポ「8050問題」高齢親子 ひきこもり死、の現場から」「ルポ ひきこもり未満」「大人のひきこもり」「ふたたび、ここから～東日本大震災・石巻の人たちの50日間」「あのと、大川小学校で何が起きたのか」など多数。

井上智博(いのうえ・ともひろ)
Sali心の相談室「ブリッジ・プロジェクト」プロジェクト責任者／臨床心理士／公認心理師／NPOや自治体組織を中心として、不登校・ひきこもり支援に携わる。2016年にSali心の相談室の訪問支援事業であるブリッジ・プロジェクト(不登校・ひきこもり専門窓口)の創設に参加。現在もSali心の相談室にて不登校・ひきこもり支援を行っている。その他、スクールカウンセラーや大学の学生相談室の相談員として勤務している。

國吉 淨子(くによし・きよこ)
メンタルケア協議会理事／元都立中部総合精神保健福祉センター／S52～東京都勤務。松沢病院、多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

白石弘巳(しらいし・ひろみ)
メンタルケア協議会副理事長／埼玉県済生会なでしこメンタルクリニック院長／東京医科歯科大学大学院卒。東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科教授を経て現職、専門は精神医学、精神保健学。ひきこもり支援に関して、訪問活動や当事者会のサポート、往診等幅広く実践し、東京都をはじめ各地にて講演活動を行う。

崔炯仁(チェ・ヒョンイン)
いわくら病院診療科長／日本メンタライゼーション研究会運営委員／日本精神分析的な心理療法フォーラム理事／日本青年期精神療学会理事／SEEDきょうと理事／1995年京都府立医科大学医学部卒業。1996-2004年、国立舞鶴病院、松下記念病院、海辺の杜ホスピタルの医員。2004年から京都府立医科大学大学院 精神機能病態学助教、のち講師。2009年、ロンドン大学セントジョージ校 摂食障害部門留学。留学時にAnna Freud Centre 主催 Mentalization-based Treatment Basic Training など修了。2010年京都府精神保健福祉総合センター。2011年東日本大震災京都府心のケアチームチームリーダー。2013年から現職。著書「メンタライゼーションでガイドする外傷的育ちの克服」(星和書店)ほか。

特定非営利活動法人TENOHASI(てのはし)
2003年医療者グループ「池袋医療班」といけれどん・いけともが合体して「地球と隣のぼっぴい空間・池袋(TENOHASI)を結成、2008年、法人名を「TENOHASI」とする。2020年コロナ禍で炊き出しの方法を手作りから注文したお弁当配布へ変更。夜回りでは、池袋駅周辺を回り路上などに寝ている方におにぎりや手作りパン・チラシを配りながら医療・生活相談を行っている。

内藤 武(ないとう・たけし)
メンタルケア協議会理事／元立教大学学生相談所インテーカー／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

西村 由紀(にしむら・ゆき)
メンタルケア協議会理事／メンタルケア協議会の法人設立を手伝い、東京都精神科救急医療情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京都自殺相談ダイヤルの立ち上げに携わる。

羽藤 邦利(はとう・くにとし)
メンタルケア協議会理事長／S42 京大医学部卒。富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58代々木の森診療所開設。H2年1月より代々木の森診療所院長。H24年4月より同診療所理事長。専門：臨床精神医学一般。

パントー フランチェスコ(ぱんとー・ふらんちえすこ)
精神科医／サクロ・クオレ・カトリック医科大学卒(ジェメツリ総合病院、ローマ、イタリア)現在、慶應義塾大学病院勤務。心療内科臨床一般。

深谷 篤史(ふかや・あつし)
如月心理相談室代表／NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ理事・東京支部長・埼玉支部長・神奈川支部長／医療法人社団コスモス会 紫藤クリニック 臨床心理士／東京 EMDR 開業 者 協 会 (Tokyo Association for Private Practitioners of EMDR : TAPPE) 会員／臨床心理士、公認心理師、EMDR 臨床家資格(日本EMDR学会認定資格)、認定行動療法士(日本認知・行動療法学会認定資格)、心理学修士／不登校・ひきこもり支援のアウトリーチや家族支援、アウトリーチの研究活動に携わる。

山登 敬之(やまと・ひろゆき)
明治大学子どものこころクリニック院長／筑波大学大学院博士課程医学研究科修了／精神科医、医学博士。専門は児童青年期の精神保健／国立小児病院精神科などを経て、2004年に東京えびすさまクリニックを開設。2020年9月に同院を閉院後、明治大学文学部心理社会学科特任教授に着任。

メンタルケア協議会特任相談員
大神 那智子／西森 優実子／大久保 佳幸／高橋 美恵子／阿部 正美／西森 優実子／千田 康仁／山城 久典／赤畑 淳